

庄内町立図書館だより

よめっちゃん

(本をたくさん

「読んでね」との願いを込めて)

2016.8.31(No.16)



本棚の場所が ちょっと変わりました!

コミックエッセイ本は1階ホール中央に移動しました! 雑誌コーナーと併せて、ゆっくりご覧ください。また、子どもどくしょ室中央に、日本昔話&世界の童話コーナーを新設しました。サバイバル&ひみつシリーズは窓際奥に移動しております。



おもしろちゃ

あまるめ Show店街

平成28年9月25日

場所: 余目駅周辺から茶屋町周辺までのエリア
時間: 午前10時~午後4時まで

町立図書館も参加しますよ!!

遊びに来てね♡

☆場所 駅前広場周辺

☆内容 本の貸出
絵本の読み聞かせ



※本の貸出をご希望の方は利用者カード
をご持参下さい m(._.)m



図書館カレンダー

★開館時間

平日 午前9:00~午後7:00

⇒休館日 土日 午前9:00~午後5:00

9月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	



おはなしらんどポップコーンによるおはなし会

9/21(水)10/19(水)10時~図書館ホールにて
お子さん、お孫さんと一緒に、パパママはもちろん、
じいじ、ばあばもお気軽にどうぞ

10月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					



8月下旬、当館に高校の先生が職場研修に来て
くださいました。先生からも働くことについて
のオススメ本を紹介していただきました!

『絶望の国の幸福な若者たち』

古市憲寿/著 (講談社)



子ども達が「大人になった自分」という題で作文を書けば、ケーキ屋、花屋、警察官、様々な夢があふれます。しかし、大人になるにつれて壮大な夢はいつの間にか安定志向へ。小一の我が子は、盆に「お金持ちになりますように」と拝んでいました。お金持ちになるためには働くんだよ、そもそもお盆はお願いことをする日じゃないよ、と諭しましたがきっと理解していません。この本には、長く続く安定よりも、その時の幸せを追求する若者たちについて述べられています。働くこと、経済のこと、社会保障のこと。そもそも働くって、何のため?原点に立ち返って考えてみるのもいいかもしれませんね。

お問い合わせ 図書館・内藤秀因水彩画記念館

43-3039

分館 56-3308

図書館 HP→<http://www.town.shonai.lg.jp/library/>

『「くりかえし」の家事を楽しむ小さな工夫』

田中 千恵 (KADOKAWA メディアファクトリー)

会社は休日があっても、ご飯の支度や掃除・洗濯は休みなし！ 家事は「やって当たり前」なんて思われがちですが、家族が毎日生活していくための大切な「仕事」です。いつも丁寧にできればいいけど、疲れた日や手が回らない時もあるってストレスに…そんな時はこの本を手にとってみては。

私が入り入れてみたのは、ほうきとチリトリを使った掃除です。気が付いた時にサツときれいにできて夜でも音が気になりません。

気に入った道具や食器を使うこと、5分でも自分だけのリセット時間を持つこと、苦手な家事はためずに少しずつ。上手に手抜きもしながら楽しむ気持ちを持って家事をすることで、日々の暮らしや家族を大切に思えるようなヒントをもらえる1冊です。



『仕事を最大限に効率化するエフェクティブ・タイム・マネージメント／15分間仕事術』

国際弁護士 八代英輝 (日本文芸社)

毎日のようにテレビに出演し、弁護士の立場から鋭いコメントを発する八代氏。この本では、多忙な中で仕事を最大限効率化する仕事術を伝授している。毎日忙しい中で仕事に追われている皆さんも「八代方式仕事術」をマスターし、仕事ができ信頼される人間になってみませんか。まず、仕事をする上で、タイムエフェクティブ(かかった時間と仕事の効果との相互関係)意識を持つことが大事だと。「費用対効果」の感覚と同様に「時間対効果」という時間意識を磨くことで仕事が格段と効率化されてくるらしい。また、目標をかなえるための「70%計画術」や情報をえるための「学習術」として「本の情報を得るための読書法」も参考になる。



今月の職員のおすすめ本 仕事～働くこと～

『働く母さんお助けバイブル』ももせいづみ/著 (主婦の友社)

山形県は、共稼ぎ率No.1って事はご存じですよね。でも仕事と家事の両立って、やっぱり大変！ってなります。すべて完璧にこなすなんて、絶対どこかにムリがたります。働くお母さんは、もっとラクしても良いんです！と声を大にして言いたくなります。こちらの本の、すぐやるリスト&ハッピーメッセージは確信を突きつつ、何とかなるさって笑えるともあり、ちょっと心がかるくなります。子育て、仕事、家事、そして一番大切な心のピンチを乗り越えるアドバイスが満載の1冊になっています。日々、表紙のような太陽の笑顔を心掛けたいものです。



『ルリユールおじさん』いせ ひでこ/作 (理論社 ※現在は講談社にて刊行)

ルリユールとは、フランス語で手仕事で製本をおこなう職人のことを指すのだそうです。この絵本には、壊れた本にあらたな命を吹き込むルリユールとひとりの少女との交流が描かれています。

木が大好きな少女・ソフィーは、大好きな植物図鑑の修理を依頼するためルリユールの工房を訪れます。ソフィーがはじめたアカシアの木の話をきっかけに、ルリユールは素晴らしい職人であった父の言葉を思い起こすのでした……。そして夜を徹して仕上がった図鑑を見たソフィーは、ルリユールへのお礼に自ら育てたアカシアの芽を贈ります。

思いや知識を次世代に繋げること、自分が良いと思うものを信じ、誠意をこめて働くことの大切さを再認識させてくれる1冊です。



『墜落遺体』飯塚 訓/著 (講談社)

災害や事故の影には、遺体の身元確認作業という仕事があります。1985年8月に起きた日航機墜落事故でも、自衛隊、近隣警察、医師や法医学者、看護師など膨大な人員が動員されました。文章にしてしまえば簡単ですが、現実には壮絶です。季節は盛夏、遺体の収容された体育館の館内が40度に達する中、たくさんの人生の終わりを直視させる得ない毎日は、正に極限状態でした。最前線で職務を全うされたたくさんの方々には熱い思いがこみ上げます。



『置かれた場所で咲きなさい』



渡辺和子/著 (幻冬舎)

ビジネス書コーナーは“勇ましい”キャッチコピーであふれています。「なぜ…なのか!?!」「…もやってみせる!」「99%…できる!」「ピンチがチャンス!!」等々。

でも実際は、毎日仕事を謳歌できている方はごくわずか。不安や不満で時には心が折れそうになることも(泣)。

著者は言います。「人はどんな境遇でも輝ける。どうしても咲けない時は、下へ下へを根をのばす。つらい日々も、笑える日につながっているのです。」こんなはずじゃなかった、の連発の日々。仕事をしていて、どうしても「咲けないとき」、是非この本を手にとってみてください。心にぽっかり開いた穴から、これまで見えなかったものが見えてきます。